

ココロ、トキメク、ヨツカイチ

広
報

よっかいち

YOKKAICHI CITY PUBLICITY PAPERS

2026

4

April

今日から
わたしも一年生！



02 【特集】 Life is Connection -自治会のある暮らし-
08 見て・学んで・楽しむ そらんぼ四日市
09 知っていますか？実はこれ、特定外来生物です

10 きらり四日市人 中澤陸斗さん
11 人権のひろば / 市長の全力取材！
12 そらんぼへ行こう / 文化財さんぽ

Life is Connection

特集 | 自治会のある暮らし

自治会の歴史は古く、その起源は江戸時代の五人組制度にあるとされています。戦時体制の強化のために利用された市民組織は、終戦とともに解体されましたが、しばらくして自主的に市民組織が復活。現在の自治会組織へと拡大しました。なぜ、これほど時代が変わっても、自治会は残り続けているのか。それは、互いに支え合って生きることが、暮らしの土台であるということ、私たちは経験的に知っているからかもしれません。誰かのために、あるいは自分のために手を取り合う。

Life is Connection—

自治会があるからこそ生まれる、私たちのまちの“つながり”に触れてみてください。



自治会って何してるの？

自治会費の使い道教えて！

自治会に入るメリットって何？

行政の仕事じゃない？

どうやって加入するの？

何か頼まれるんでしょ…

自治会に対するさまざまな「ギモン」。

少子高齢化や人口の減少、仕事や子育てなどに追われ、地域に関わる時間が少なくなっていることなどの社会的背景、さらに、「人付き合いが面倒」「自分に直接関係ない」などといった考えからくる地域コミュニティの希薄化が、自治会との距離を生み、そもそも自治会のことをよく知らない人が多いのではないのでしょうか。

自治会に関心のない人が増え、自治会の存続ができなくなると、地域の生活環境の悪化や孤立化が進んでしまい、安全・安心な暮らしを維持することは困難になります。

こうした未来を招かないためには、左記のような一つひとつの「ギモン」をひも解き、自治会への理解を深める必要があります。

つながるために、歩み続ける。

Life is Connection 01 コミュニティを越えてつながる地域の輪

地域には自治会をはじめ、社会福祉協議会、まちづくり委員会、教育機関、企業、ボランティア団体など多様な主体が存在します。八郷地区は、これら団体が柔軟に連携し、役割を分担しています。そのため八郷地区で開催される行事は多岐に渡り、たく

さんの地域住民が参加。毎年恒例の名物行事「八郷フェスタ」や、年に1度の八郷地区全体で行う清掃活動「クリーンアップ八郷」など、規模の大きい活動が活発です。このような行事をまち全体で行うことで、多様な世代がつながる機会を創出しています。



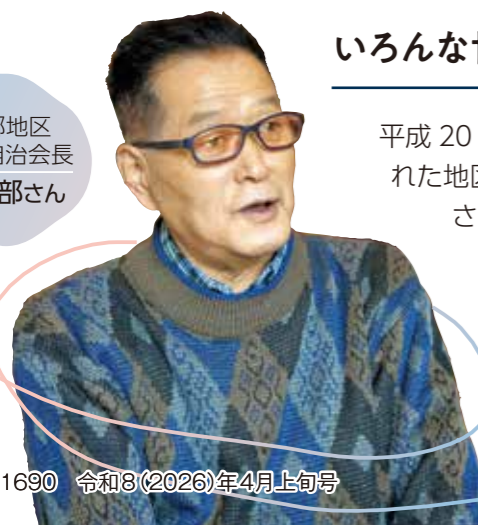
1 2月15日の「八郷早春まつり」でのコマ。昨年の「八郷フェスタ」が雨天で中止になったため、開催された 3 令和6年開催の「八郷フェスタ」
4 クリーンアップ八郷 5 地区行事でふるまう「八郷汁」。使われる野菜の一部やお米は、絆づくり事業の農作業体験に参加した親子が育てたもの

いろんな世代が交流できるイベントに

平成20年の市制111周年を機に始まった「八郷フェスタ」。二つの小学校区に分かれた地区のこどもから大人まで、皆が楽しめる場を提供したいという思いから企画されました。

毎年2,000人の参加があり、八郷地区への転入者も多い中、このイベントは地域のつながりを生む貴重な機会になっています。また、開催に向けて各団体が協力し話し合うことで、八郷地区のことを真剣に考える場にもなっています。まちが一つになるイベントなので、これからも続けていきたいですね。

八郷地区
連合自治会長
春日部さん



仕事や育児の合間に活動に参加する人、他の団体から自治会を支える人。時代の変化に合わせて、それぞれの関わり方を受け入れ、自治会はその地域に最適な形を探しながら、歩みを止めることはありません。

Life is Connection 02 人と人をつなぐ“デジタル”

今までは、紙媒体の提出物やお知らせ、顔を合わせて行う会議が当たり前でした。しかし、デジタル機器の普及や、ライフスタイルの変化、さらにコロナ禍を経て、さまざまなもののデジタル化の機運が高まりました。

媒体になじみがある世代ばかりではありません。自治会という組織を存続させ、次世代に活動をつなぐには、そして多様な世代が快適に暮らすにはどうすればいいか。さまざまな懸念や葛藤がある中で、デジタル化に挑んだのは富田地区の連合自治会でした。

ただ、地域で暮らす人はスマートフォンなど電子

「時間」というハードルを取り除きたい

自治会の担い手不足を解消しようと、昨年4月から、ビジネス向けチャットツールLINE WORKSを導入しました。かつては活動に専従できる役員もいましたが、今は共働きや子育てと両立する人が大半です。「地域のために動きたい」という志があっても、活動時間の確保が大きなハードルとなっています。

そこでまず、連合自治会と各自治会長間の連絡調整をデジタル化しました。加えて、地区市民センターとも協力して申請や報告がオンラインで完結する仕組みを試行しています。もちろん、デジタル化がストレスになる人への配慮も必要です。10年ほどかけて緩やかに移行しながら、どの世代が役員になっても無理なく活動できる環境を作ることが、これからの自治会には不可欠だと考えています。

これからも、テクノロジーの力を借りて「時間のハードル」を下げ、若い世代も気軽に参加できる自治会の形を目指します。

富田地区
連合自治会長
北本さん



自治会長の Real Voice /

自治会長に就任し3年目ですが、働きながら、家庭を持ちながらの自治会活動は、どうしても「時間」が足りません。LINE WORKSの導入により、データでのやり取りはもちろん、細かな情報共有を即時に行うことが可能になりました。また、提出書類の記入例などが投稿されていて、自分で調べたり問い合わせたりする時間が削減されています。デジタル化以外にも、昨年からは定例会の年間の開催回数が半分に減りました。両立しやすい環境にどんどん変わっているので、ありがたいです。

東茂福町
第二自治会長
とももの
伴野さん



1 2 電子回覧板を導入し、自治会活動のデジタル化を先駆けている豊川市を視察。説明会が開かれた 3 地区市民センターとのLINE WORKSでのやり取り

次世代へつなぐ想い

多くの自治会は、高齢化による担い手不足などの問題に直面しています。この問題に真っ向から向き合い、将来の自治会の存続につなげようと、自治会の重要性をこどもたちに伝えている地区があります。

Life is Connection

03

地域がつながる大切さをこどもたちへ



1 日永小学校6年生に自治会の役割について話す井谷さん
2 授業を受けてこどもたちが学んだことや自治会への要望などをまとめた用紙

日永地区
連合自治会長
星野さん



こどもが知らない大人を減らしたい

日永地区の自治会加入率は、市全体と比べると低いです。そこで、まずは自治会を知ってもらうため、こどもにも分かりやすい動画を日永地区市民センターと共に作成しました。その後、日永地区市民センターの声掛けで、区内の小・中学校で自治会について話す時間をもらい、2年連続で実施しています。

小学生と接する機会が増えたことにより、「地区の人」と認識してもらえるようになりました。加入率の悪さもこの活動のきっかけですが、こどもたちが地域に目を向けることで、こどもと大人のつながりが広がっていかけています。

将来、ここに住みたいと思ってほしい

生まれ育った泊町に恩返しをしたい。そんな思いで自治会長を引き受け、星野さんに、小学校の授業で自治会の役割を伝えてほしいと依頼され引き受けました。

授業ではまず日永地区で作成した動画を見てもらい、「ごみ集積所の掃除や防犯外灯がなくなったら、まちはどうなる？」など問いかけます。こどもたちからは「まちが汚くなる」「暗くて危ない」と次々に意見が出ます。対話を通じて、自治会が暮らしの安心を支えていることを実感してもらいます。

また、特に強調して伝えているのは「地域の防災」です。災害時、家族が不在でも、助け合える「横のつながり」があれば命を守れます。この活動を通じ、こどもたちが大人になっても「日永地区は安全・安心」と誇れるような、温かい地域をつないでいきたいです。

泊町
自治会長
井谷さん



自治会のこれから

現在、市内には全728自治会があり、加入率は令和7年4月1日時点で83.7%となっています。市全体で見ると、低くはない加入率ですが、地区によっては70%

を切るところも。この現状から、これから求められる自治会のあり方を、市内の自治会をまとめる、四日市市自治会連合会会長に聞きました。

お互いに助け合い、支え合えるまちを

四日市市の自治会加入率は、年々減少傾向にあり、「自治会は何のためにあるのだろう」と感じる人もいるかもしれません。しかし、自治会を含めた地域のつながりにより、住民同士の交流・触れ合いが深まり、生活がより豊かで円滑なものとなります。

昔から「向こう三軒両隣」という言葉があるように、日頃の助け合いが、安心な暮らしを支えてきました。特に災害時は、ご近所同士の声掛けや支え合いが不可欠です。いざという時に備え、普段から顔の見える関係を築く場として、自治会は大変な役割を担っています。

皆さんぜひ、自分の住むまちに関心を向けてみてください。「自分たちのまちは、自分たちで良くしていく」という思いが広がれば、四日市市はもっと暮らしやすいまちになるはずですよ。

四日市市自治会
連合会会長
山路さん



もっと地域が活動しやすくするために

自治会を法人化しませんか

今まで、集会所や公民館などの不動産を所有しようとする際、個人の名義で登記しなければならないなど、課題がありました。

自治会が法人化することにより、自治会名義で集会所などの不動産登記が可能になるほか、自治会の契約や資産管理の円滑化を図ることができます。



自治会へのいろんなギモン？

Q 自治会って何してるの？

A 安心して地域で暮らせるようさまざまな活動を行っています。

防犯外灯の維持、高齢者の見守り活動、地域の美化活動、ごみ集積所の管理、イベント開催、防災訓練など地区によって異なります。そして、これらの活動に自治会費が使われています。どれも、行政の手が届きにくい、私たちの暮らしに直結する活動です。

Q 自治会は加入しないとイケないの？

A 自治会へぜひ加入してください！

安心して暮らせる住みよい環境を作っていくためには、自治会の果たす役割は大きいです。本市では、令和2年に「四日市市自治会加入の促進と自治会活動推進のための条例」を施行し、積極的な参加・参画を促進しています。

Q 大変な仕事を任されたりしないの？

A ライフスタイルに合わせて、無理のない範囲で関わって。

まずは、地域のイベントに参加して、顔見知りになることから始めませんか。

Q 加入するにはどうすればいいの？

A お住まいの地域の地区市民センターへお問い合わせください。

自治会については、市ホームページも参考にしてください。



見て・学んで・楽しむ そらんぼ四日市

「そらんぼ四日市」は、市立博物館、プラネタリウム、四日市公害と環境未来館を擁する文化施設です。各施設では、年間を通じて、見て・学んで・楽しめる展示やイベントを企画しています。そらんぼ四日市の催しに参加して、学ぶ喜びを体験してみませんか。

博物館

四日市のまちの発展と、そこに住む人々の暮らしの変化を感じられる、体感型の常設展



3階の常設展(時空街道)には、弥生時代の竪穴住居、室町時代の四日市の市、江戸時代の四日市宿を、それぞれ原寸大で再現しています。四日市の原始・古代から江戸時代までの歴史をたどり、これからの四日市のまちと、私たちの未来を考える旅に出掛けましょう。

特別展

【大正イマジユリの世界 暮らしを彩るデザイン】

時 4月11日(土)～5月31日(日)

料 一般 1,000円、高校・大学生 600円

他 詳しくは、12ページを参照



竹久夢二《涼しき装ひ》
『三越』第15巻6号(個人蔵)

フオトスポットも
ありますよ!



四日市公害と環境未来館

四日市公害を学び環境改善につなげる

本市では昭和30年代、経済の成長とともに公害が発生し多くの方が健康被害や生活被害を受けました。その歴史と教訓を次世代に伝えるために、環境改善の取り組みや環境問題について学習し、過去と現在、未来の環境について考えましょう。



プラネタリウム GINGA PORT401

目の前に広がる約1億4千万個もの星々

GINGA PORT401に導入された光学式プラネタリウム投映機は、「本物に限りなく近い美しい星空を再現するプラネタリウム」です。まるで本物の夜空を見上げているかのような没入感を味わえます。

お知らせ

本号と同時配布のチラシ「ようこそ そらんぼ四日市へ」には、展覧会とプラネタリウムの年間スケジュールを掲載し、観覧引換券を付けています。引換券は展覧会かプラネタリウムで、1回のみ(2人まで)利用できます。プラネタリウムをご観覧の際は1階総合受付へ、特別展・企画展をご観覧の際は4階特別展示室受付にお渡しください。



特別展

「昆虫フェスティバル ～世界は昆虫でできている～」

時 6月20日(土)～8月30日(日)

料 一般 500円、高校・大学生350円



オオムラサキの標本

●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は 博物館 ☎ 355-2700 FAX 355-2704
四日市公害と環境未来館 ☎ 354-8065 FAX 329-5792

知っていますか?

実はこれ、 特定外来生物です

外国から持ち込まれた外来種のうち、生態系や人の健康などに悪影響を与える生き物が、「特定外来生物」に指定されています。

オオキンケイギク

原産地 北アメリカ
高さ 30～70cm
生育場所 河川敷、道路沿いなどの日当たりの良い場所



間違えやすい植物

キバナコスモス



オオキンケイギクとの違い

- ①葉がギザギザしている
- ②花びらは、丸みがありギザギザしていない
- ③秋に開花する

駆除の方法

1 根から引き抜く



根元から株ごと引き抜きましょう。根が残るとまた生えてきます

2 袋に入れて枯らせる



種子や根を落とさないように袋を密閉して天日にさらす

3 燃えるごみとして出す



2～3日干して枯らした後、燃えるごみに出す

市内で確認されている主な特定外来生物

農作物の食害、家屋への侵入・汚損、感染症などの健康被害を招くなど、人間に直接的な被害をもたらす危険な動物です。

提供：環境省



アライグマ

体長 40～70cm
特徴 夜行性。木登りや泳ぎが得意。雑食性で、植物、魚類、昆虫などさまざまなものを食べる

識別ポイント

茶色と黒のしま模様のしっぽ



ヌートリア

体長 40～60cm。尾の長さは30～40cm
特徴 オレンジ色の長く鋭い前歯がある。泳ぎが得意で水辺を好む

セアカゴケグモ

体長 1cm前後。脚を広げると3cm程度
特徴 メスは毒を持ち、背中に赤い模様がある



ほぼ実物大

提供：環境省

●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は 環境政策課 ☎ 354-8188 FAX 354-4412

きらり四日市人

JAPAN DRONE LEAGUE 2025
プロクラスランキング総合チャンピオン

高校3年生 中澤陸斗さん



国内トップレベルのドローンレース「JAPAN DRONE LEAGUE (以下、JDL)」は、年間7戦の総合ポイントでチャンピオンを決定します。

パイロットの操縦スキルに応じた四つのクラスがあり、最上位のプロクラスに所属する中澤さんは、昨年5月の2戦目で念願の初優勝を果たし、8月の5戦目でも優勝のほか、すべてのラウンドで好成績を収め、2025年の総合チャンピオンに輝きました。中澤さんに、ドローンの魅力や今後の目標などをお聞きしました。

出合いは父親が持ち帰った一機のドローン

父が家に持ち帰ったドローンで、興味本位に遊んでいるうちに、夢中になりました。それまで家ではテレビゲームをして過ごしていましたが、ドローンで遊ぶようになってからは、家の中に自分で障害物を作り、ドローンを飛ばすようになりました。



さまざまな大会で受賞したトロフィー



専用ゴーグルを装着しプレーする
中澤さん



ドローンチームメンバーとの集合写真
(前列真ん中)

中学1年生の4月に初めてレースに参加し、一番下のクラスで、3位に入賞してから、ますますのめり込んでいきました。

ドローンは専用ゴーグルを付けることで、ドローンのカメラが映している映像を、まるで自分の目で見ていているかのように感じられます。最高時速200km近いドローンに乗って自由に空を飛んでいる感覚になるため、テンションが上がります。そこがドローンの魅力です。

2025年、念願のJDL初優勝

JDLで優勝できると思っていなかったので、とにかく嬉しかったです。優勝だけでも嬉しかったのに、総合チャンピオンにまでなれたのは、本当に信じられなかったです。

JDLは、予選では、90秒間でコースを何周できるかを競い、準決勝からは、コース4周のタイムを競います。

予選は、スピードを上げれば周回数は増えますが、その分バッテリーの消耗が激しくなり、90秒経過する前にドローンが止まってしまうことがあります。一方、準決勝以降は、常にトップスピードを維持してゴールすることを目指します。

予選と準決勝以降では、戦略が違うのがJDLの難しいところです。

目標は、世界最大規模のドローンレース

韓国で開催された国際レースに2023、2024年に出場して、海外のレースにも興味を持ちました。今後の目標は、2年に1回開催される、世界最大規模のドローンレース「World Drone Racing Championship」に出場することです。

前回大会は2024年に中国で開催されました。大学受験があるため、今年の大会出場は難しいと思いますが、いつかは挑戦してみたいです。

4月放送のCTY-FM「よっかいち わいわい人探訪！」でも紹介します。(放送時間は裏表紙へ)

毎月22日は「人権を確かめ合う日」です

人権のひろば

人権センター (TEL 354-8609 FAX 354-8611)
 人権・同和政策課 (TEL 354-8293 FAX 354-8611)
 人権・同和教育課 (TEL 354-8253 FAX 354-8303)



「差別を許さない

～差別落書きを見過ごさない社会へ～

今日、部落差別をはじめ、障害者差別、外国人差別、インターネット上の人権侵害などさまざまな差別が根強く残っています。

本市は、人が人として尊ばれる明るく住みよい社会を築くため、「人権尊重都市」を宣言しており、差別のない社会の実現を目指しています。

差別は誤った知識や偏見から生まれます。それが攻撃的な形となって現れたものの一つが差別落書きです。これは重大な人権侵害であり、絶対に許されない悪質な行為です。書

かれた側の心を深く傷付けるだけでなく、それを見た人たちの心にも痛みを与えます。また、新たな差別意識を植え付けたり、差別を助長したりすることにもつながります。差別落書きを「しない・させない」だけではなく、「見過ごさない」ことが大切です。

私たち一人ひとりが差別を許さない行動を積み重ねることが、差別をなくし、結果として自分の人権を守ることににつながります。

差別落書きを発見した場合は、すぐに人権センターにご連絡ください。



鵜の森公園大幅リニューアル ～1期事業完成～

中央通り再編事業に合わせ、中心市街地の魅力と回遊性を向上させるため、まちなかの鵜の森公園、諏訪公園を再整備しています。

この整備により、鵜の森公園では、ゆったりとした芝生広場や遊び場を備えつつ、快適で見通しが良く、四季を感じる植栽で一年中散策を楽しめる公園となります。

また、雨水の流出を抑制するため、敷地内の大半に、透水性のインターロッキング舗装などを採用するとともに、芝生広場には、一時的に雨水を貯留し、時間をかけて浸透させ



(左) 園内の見通しを確保しつつ、曲線の園路で景色に変化
(右) ゴム系舗装で安心の遊び場

る機能を備えていきます。

鵜の森公園の泗翠庵周辺で令和6年度から進めていた1期事業では、園路や遊び場などを整備し、3月12日から皆さんに利用していただけるようになりました。

2期事業は今年度から着手し、芝生広場、園路、遊び場などを整備し、公園全体のリニューアルは来年度を予定しています。



鵜の森公園を南から望む

そらんぽへ行こう

固 博物館・プラネタリウム (TEL) 355-2700 (FAX) 355-2704

大正～昭和初期のくらしを彩った デザイン約370点を紹介

博物館では、4月11日(土)から5月31日(日)まで特別展「大正イマジユリィの世界くらしを彩るデザイン」を開催します。

大正時代の日本は、印刷技術の革新とともに出版文化が花開いた時代でした。本や雑誌の装丁、絵はがき、ポスターなどには、藤島武二、橋口五葉、竹久夢二などの気鋭の画家たちによって、新鮮で多彩なイメージが生み出されました。また、杉浦非水や小林かいちなどの図案家も登場し、モダンデザインに影響を与えます。



杉浦非水
《レタータブレットの表紙》
『非水月刊図按』第1巻第1号付録1



竹久夢二
『汝が碧き眼を開け』
(セノオ楽譜56番) 7版

今日、こうした大衆的な印刷物や版画は、イメージ図像を意味するフランス語である「イマジユリィ (imagerie)」と総称され、現代にも影響を与える豊かな視覚文化として注目されています。

本展では、監修者・山田俊幸の貴重なコレクションを中心に、当館所蔵の小林かいちの絵封筒も紹介します。当時の人々の暮らしを彩ったイマジユリィのモダンな世界をぜひご堪能ください。

文化財さんぽ

固 文化課 (TEL) 354-8238 (FAX) 354-4873

水辺に生きる希少な生き物

市内の川、海岸、水田、湿地には多様な生物が生息しています。とりわけ、楠地区の吉崎海岸は、春から初夏にかけハマヒルガオなど海浜植物の花が咲く本市唯一の砂浜のある海岸で、アカウミガメの産卵が見られることがあるほか、県鳥であるシロチドリしろちどりの営巣地でもあります。

シロチドリは、海岸や河川敷で見られる体長約15cmと小柄な渡り鳥です。白と茶色の模様が特徴で、海辺の砂浜や干潟に現れ、潮の満ち引きに合わせて餌を探す姿はとても愛らしく感じさせます。巣に外敵が近づくと、



砂浜で餌を探すシロチドリ

卵やひなを守るべく、親鳥は巣から遠ざけるための「擬傷」という行動をとります。自身が怪我を負ったように装い、外敵の注目を集めるのです。シロチドリのこのような行動が見受けられたら、その場を離れてあげてください。

シロチドリは、実は絶滅が危惧されています。環境の変化で、生活の中心である砂浜が減少していることが原因の一つだと考えられています。守るべき貴重な生物が豊富な吉崎海岸で、動植物をそっと観察してみたいかがでしょうか。



有料広告

※広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します

ノートPC用SSD データセンター用ストレージ マイクロSDカード スマートフォン用SSD

ここ四日市から世界へ。半導体技術で未来をつくる。

SANDISK™

©2025 Sandisk Corporation or its affiliates. All rights reserved. 三重県四日市市山崎一色町500番地 TEL.0466-36-4044

3歳になったら鈴鹿サーキットパークへ!

3歳バースデー・デビューインビテーション
3歳のお誕生日から1か月間。

パークパスポートの料金
ご本人無料 + 同伴のご家族5人まで半額

※事前申込が必要 ※レース開催日・特定日を除く ※翌月の同日まで。翌月に同日が存在しない場合は、その翌日(1日)まで ※料金は変動制のため、来場日の料金をご確認ください。

SUZUKA CIRCUIT PARK 三重県鈴鹿市稲生町 7992 TEL.059-378-1111

詳しくはこちら

早く! お得に! きれいに!

庭木1本から承ります!

お客様のお約束
庭木1本より明瞭料金
トイレはお借りしません
土日でもOKです
お茶はご遠慮します

生垣の剪定 長さ1m 高さ2m
通常 2,200円を ※税込
初回限定 先着10名様 1,100円

広報よっかいちをいっしょの方へ

庭木のプロフェッショナルが対応します!

ガーデンエクスプレス 四日市店 0120-61-4128
カタクラ(東証スタンダード上場会社)グループ 四日市市西浦1-1 営業時間 9:00~17:00

こんな人はぜひ一度ご相談ください!!
院長 原田 聡

ホームページはこちら

矯正歯科

上顎前突 下顎前突 正中離開 交叉咬合
過蓋咬合 空隙歯列 開咬 叢生

※自由診療です ※症状によって料金が異なります

★大人/19万8千円~50万円程度 ★子ども/約5万円~35万円程度

歯科衛生士募集!! ハート
時給:1,800円~2,000円
社会保険完備(条件による)・交通費規定支給
◎働きやすい環境 ◎他業種のワークOK
◎復職される方、40・50代の方も歓迎

昼食(弁当)支給あります!!

桑名はらだ歯科クリニック ☎0594-27-5454
桑名市新西方7-22 イオンタウン桑名新西方内

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:30	○	○	×	○	×	○	×
15:00~18:00	○	○	×	○	×	○	×

休診日:水曜、日曜、祝日
★14:30~18:00

「広報よっかいち」に広告を掲載してPRしませんか?

広報紙広告ならではの **メリット**

- エリアを絞った情報発信
- 地域での知名度向上
- 自治体発行の信頼度の高い広報媒体

他エリア自治体広告もお任せください! お問い合わせ 092-716-1401 株式会社 ジチタイアド 福岡県福岡市中央区薬院1-14-5MG 薬院ビル7F 財源確保 検索

※株式会社ホープの広告事業は、2021/12/1付で「株式会社ジチタイアド」に会社化しております。

4月 | 市の情報発信 City Information

- 人口 304,931人
[2月末日現在(前年比-1,077)]
- 火災件数 10件
[2月分(前年比-1)]
- 交通事故件数 875件(2月分)

テレビ

CTY(地デジ12ch)

- 四日市市からのお知らせ
時 4月17日(金)、4月24日(金)
12:30/18:20/20:30

ラジオ

CTY-FM(FM76.8MHz)

- マンスリーよっかいち
時 第1・3回 8:54/14:54
- ALO! YOKKAICHI
時 土 19:54
- なるほど!防災
時 月 17:30/水 8:30
- よっかいち わいわい人探訪!
時 第2・4回 8:54/14:54
- 人権を確かめあう日
時 毎月22日(4月は、7:30/
11:54/13:54/16:30/
18:30)

市公式SNS

X



LINE



Instagram



Facebook

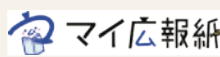


YouTube



そのほかの
公式SNSも
チェック!

広報をWEBで読めます



「よっかいち」で検索

- 自動翻訳機能
(ポルトガル語、ベトナム語など26言語)
- 自動音声読み上げ

マチイロ



市ホームページ



アンケートに答えて

洒水十貨店をGetしよう!

問 広報マーケティング課(TEL 354-8244)

回答者の中から抽選で各3人に「洒水十貨店」が当たります。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

A



濃い抹茶グリーンティ(無糖)
(南萩村製茶)

本市の特産品「かぶせ茶」を「抹茶」に仕上げました。抹茶として飲むだけでなく、お菓子作りにも使用できるなど本格的な味を手軽に楽しめるよう工夫を凝らした逸品です。

B



ゴロゴロ椎茸入りあおさのり佃煮
ホープシード(株)

本市の良質な水で育てた、肉厚で芳醇な香りが特徴のシイタケを使用。シイタケ以外にも、本市で作られた醤油や伊勢志摩産のあおさのりなど、すべての材料にこだわっています。

■ 応募方法

専用フォームから



■ 締め切り

4月27日

編集後記

特集に関するこぼれ話



▲令和4年3月上旬号準特集

本号の6ページでインタビューした日永地区の井谷自治会長。実は私、4年前の令和4年3月上旬号で消防団を取材したときも井谷さん取材していたんです。現場で、「覚えてます!!」と盛り上がったのは言うまでもありません(笑)当時の号をきっかけに、消防団に入った人がいるというお話も伺い、広報よっかいちが誰かの「一歩」につながったことを知って胸が熱くなりました。情報を届けるだけではなく、読む人の心を動かす、そんな広報よっかいちをこれからも発行していきたいです。(山中)